



菅波 茂

「顔の見える日本」とは「日本が何を大切にしているか」を世界に向かって発信することである。前回でも述べたように、世界の人達にとって最もわかりやすいのが「親切」である。「究極の親切」は緊急援助である。次なる親切は貧困対策であり、これを社会開発という。緊急援助といひ社会開発といひプロの人材を必要とする。日本が必要とする国際貢献のプロの人材とは何か。日本には既におのおの分野に多くの専門家が在る。ただし、これらの専門家が緊急援助や社会開発活動の場でその実力が発揮できるように場づくりをするコーディネーターというプロが必要である。活動が成功するか否かはコーディネーター次第で

ある。

コーディネーターとして必要とされる条件は少なくとも三点ある。一つは語学力、

AMDA国際大学

うな国際貢献のプロの人材を養成する四年制の大学である。「国際貢献学部」の名のもとにカリキュラムは編成される。一年生は英語

二つは交渉力、三つは海外で活動をするための知識である。人間社会はいかなる場合でもルールがある。たとえ国境を越えても。宗教なくして国際社会は語れない。ダイナミックな動きをする社会をどう理解し対処していくのか。それが国際法、宗教学そして社会学などである。

AMDA国際大学 (仮称) は上記のよ

および選択外国語を集中的に学ぶ。一二年生は国際法、宗教学、社会学などの専門教育を受ける。四年生は海外の難民キャンプ、社会開発の現場、国連機関および国際機関でのフィールド実習で体験を豊かにする。教職員は国連、NGOそして海外の大学などと連携して世界中から公募する。学生は高校卒業生のみならず社会人、帰国子女そして留学生なども大歓迎である。

国際貢献と岡山の地域おこし。世界が必要とする岡山をめざして。岡山に本部を置くAMDAの原点である。幸いにして岡山県下で複数の自治体が計画に賛同してくれている。

AMDA国際大学。五年以内に開校できれば。一九九六年新春の初夢である。

(アジア医師連絡協議会代表・題字は筆者)